



オープンフォーラム

「生物多様性と流域圏」

2009年3月18日(水) 13:30~16:30

- 場 所** 名古屋ルーセントタワー16F JK会議室
- 定 員** 240名 (定員になり次第締め切らせていただきます)
- 会 費** 無料
- 参 加** どなたでもご参加いただけます
- 申込先** 「3/18 オープンフォーラム参加申込」と標記し
参加者氏名・所属先・連絡先 をお知らせ下さい。
FAX: 052-789-3727 または
E-mail: administrator@errp.jp

申込期限 2009年3月16日(月)

プログラム

- 13:00 … 開場
- 13:30 … 開会
- 13:30 … 趣旨説明 辻本哲郎 (名古屋大学大学院 教授)
- 13:45 … 講演 1 「生命(いのち)の賑わいはどのように生ずるのか」
山岸 哲 (山階鳥類研究所 所長)
- 14:30 … 講演 2 「生態系をはかる技術はあるか」
森下郁子 (淡水生物研究所 所長)
- 15:15 … 休憩
- 15:30 … パネルディスカッション
コーディネーター: 辻本哲郎
パネリスト(五十音順): 森下郁子, 山岸 哲
- 16:30 … 閉会

主 催: 文科省科学技術振興調整費受託研究
「伊勢湾流域圏の自然共生型環境管理技術開発」研究グループ
共 催: 名古屋流域圏水理研究院(NHRI), 応用生態工学会(ECES)
連携協力: 生物多様性条約第10回締約国会議支援実行委員会



オープンフォーラム 「生物多様性と流域圏」



衛星写真を見てわかるように、わが国はコントラストの効いた地形に季節変化のある降水が降り注ぎ、山から海に至る水の流れそしてそれに伴う土砂をはじめさまざまな物質がわれわれにさまざまな恵みをもたらしています。こうした恵みは分水嶺で囲まれた陸域の水循環の単位である流域、その中にあるさまざまな景観を水や物質の流れが通過するときにもたらされるものです。さまざまな景観は、地形や水の動き、物質循環そして生物をはぐくんでいるユニットで、こうした相互作用が恵みをもたらしているのです。人間活動は、それがあがるがままでは飽き足らず、人口増への対応、効率化のため、人工的な施設（インフラストラクチャー）をこの上に築きその目的を達成してきました。いまや国土は水循環が駆動する流域を人工フラ

ックス網で連結した流域圏を構成、さらには湾域を含む沿岸とも運命共同体となっています。そして、生態系劣化、高エネルギー消費型社会がもたらす地球環境問題などが、われわれの持続性を脅かしていることが認識されてきています。こうした中で、持続性ある流域圏の再構築によって国の持続的発展を実現する技術研究が、文部科学省科学技術振興調整費の重要課題として取り上げられ、H18年度採択されたのが、「伊勢湾流域圏の自然共生型環境管理技術開発」（H18～22年度）で、名古屋大学を中核として、国土技術政策総合研究所、土木研究所、国立環境研究所、農村工学研究所、水産工学研究所、養殖研究所が連携して取り組んでいます。「自然共生型流域圏」構想は、直感的に持続性の期待できるものとされますが、これを科学的に実証する仕組みを作ることが本研究課題の大きなテーマです。

たとえば、流域圏の生態系と共生することによって、われわれは生態系サービスという恵みを最大限に享受して化石燃料代替で地球温暖化緩和を目指せるでしょうし、生物多様性の確保による人間社会の持続性も確保できるはずです。両者は気候変動枠組や生物多様性条約など世界的にも関心の高い課題です。ただ、どのような施策や行動がどのようにこうした効果を生み出すかの科学的評価法をまだ手に持っていないのです。これまでの研究によって「生態系サービス」の評価はおぼろげながら議論できるようになってきましたが、「生物多様性」とその効果の評価はまだ緒に付いたばかりです。わが国では、2008年に「生物多様性基本法」が制定され、2010年には名古屋で生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）の開催が予定されています。

この研究チームでは、研究当初から毎年アウトリーチとして市民見学会、市民フォーラムを実施してきました。今回この枠組を中心に、学際的な連携が望まれるさまざまな分野の研究者のフォーラム、COP10に向けた研究者層の意識向上などさまざまな目的を統合し、至上の講演者を招いてシンポジウムを企画することが出来ました。貴重な、特別講演を聴講いただき、自然共生型流域圏を目指して技術研究を行っているわれわれとの討議の中に、地球と人類、われわれの社会の持続性を探る道筋を構想する機会を共有したいと思います。多忙な年度末の時期ですが、お問い合わせまでのご来場をお待ちしています。

名古屋大学大学院
辻本 哲郎

< 会 場 > 名古屋ルーセントタワー16F JK会議室
(JR名古屋駅より徒歩5分)

< 申込先 > 「3/18 オープンフォーラム参加申込」と標記し
参加者氏名・所属先・連絡先 をお知らせ下さい。
FAX : 052-789-3727 または
E-mail : administrator@errp.jp

< 問合せ先 > 名古屋大学
「伊勢湾流域圏の自然共生型環境管理技術開発」プロジェクト事務局
TEL : 052-789-4628



オープンフォーラム 参加申込書 (FAX送信票) 申込期限：2009年3月16日 (月)

代表連絡先

フリガナ		所属先名称	
氏 名			
住 所			
TEL		FAX	

参加者氏名・所属 (代表連絡先の方のご記入は不要です。)

● 参加者氏名	● 所属	● 参加者氏名	● 所属

お申し込みの際にご提供いただいた個人情報は、本シンポジウムの運営管理のみに使用します。